

平成22年7月16日

放送コンテスト参加中学校長 様
放送コンテスト担当教諭 様

群馬県小中学校教育研究会
情報教育部会
会 長 松 村 晃 人

群馬県中学校放送コンテスト兼第27回NHK杯中学校放送コンテスト 群馬県大会結果報告について

平素から本教育研究会の各種事業につきまして、御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、過日申込みいただきました放送コンテスト群馬県大会審査が下記の通り行われ、審査結果が出ましたので、入賞者一覧表・審査講評を送付いたします。後日、発送いたします入賞者への賞状・賞品および参加賞等の該当生徒への配布をよろしくお願いいたします。

記

- 1, 日 時 平成22年7月16日(金)
- 2, 会 場 日本放送協会 前橋放送局 会議室
- 3, 主 催 群馬県小学校中学校教育研究会情報教育部会
NHK前橋放送局 NHKサービスセンター

4, 審査員

《教育研究会》

松村 晃人(会 長:前橋市立芳賀小学校長)
金井修一郎(放送担当理事:前橋市立南橋中学校長)
湯澤 幸男(事務局長:前橋市立上川淵小学校教頭)
後藤 一浩(書 記:渋川市立渋川中学校教諭)

《NHK》

鈴木 桂一郎(チーフアナウンサー)

5, 参加校一覧

	学校名	顧問名	アウツ	朗読	テレビ	ラジオ
1	新島学園中学校	小宮山 仁	2	5		
2	吉岡町立吉岡中学校	木暮 敦美		13		
3	伊勢崎市立第二中学校	高橋 敬子		5		
4	高崎市立矢中中学校	楡井由紀乃		1		
5	高崎市立群馬中央中学校	湯浅 教子		7		
6	前橋市立春日中学校	高橋 浩		1		
7	渋川市立渋川中学校	後藤 一浩		1		
	合計		2	33	0	0

群馬県中学校放送コンテスト兼第27回NHK杯中学校放送コンテスト
群馬県大会結果報告・入賞者一覧

1 アナウンス部門

最優秀賞 原 果那恵 新島学園中学校3年
全国大会で優秀賞受賞
優秀賞 吉井 莉奈 新島学園中学校3年
【最優秀賞・優秀賞作品の上記2名は全国大会へ推薦・出品】

2 朗読部門

最優秀賞 山口 泰平 伊勢崎市立第二中学校3年
優秀賞 栗原 詩音 伊勢崎市立第二中学校3年
嶋田 智文 高崎市立矢中中学校2年
濱本 光翔利 前橋市立春日中学校2年
高橋 由衣 渋川市立渋川中学校2年
若松 朱里 新島学園中学校3年
【最優秀賞・優秀賞作品の上記6名は全国大会へ推薦・出品】

優良賞 藤本 桜綾 伊勢崎市立第二中学校3年
矢下 美穂 伊勢崎市立第二中学校3年
大島 ひかる 伊勢崎市立第二中学校2年
小坂橋彩寧 新島学園中学校3年
奨励賞 瀧澤 樹 吉岡町立吉岡中学校1年
野村 桃子 高崎市立群馬中央中学校1年

3 番組制作(テレビ)部門

応募なし

4 番組制作(ラジオ)部門

応募なし

応募に関するお願い

例年、応募に関して全国大会事務局からも通達がきており、本県要項にも謳っておりますが、応募の際には全国大会要項を確認してください。特に、カセットレーベルの作成・添付については、地区名は「群馬」、エントリーナンバーは「無記入」でお願いいたします。また、原稿は指定用紙に手書きで朗読部分を写してください。

また、録音レベルの低かったり、ノイズが入っていたりと、せっかくの作品なのに聞き取り難いものもあります。試し録りを行い、録音状態の確認をぜひお願いします。

全国大会について

日時・会場

予選：平成22年8月7日(土)・8日(日) - 非公開 -

決勝：平成22年8月20日(金) - 公開(9:00~17:00) -

決勝の審査会場 - 千代田放送会館2Fホール(東京都千代田区)

予選・決勝ともに、あらかじめ提出されたテープで審査します。

審査講評

各部門共通（アナウンスメントについて）

例年講評の中で言われていることだが、全体的に文章の読み込み不足がみられ、文を細かく切り過ぎる（句読点以外のところで切りすぎる）傾向が多く、ただ読んでしまっている作品も見られるが、事前に黙読等を繰り返し行うことを通して、意味の解釈・文のつながりの理解を深められている作品もあり、8作品を全国大会に推薦した。

しかし、細かく文を切ってしまったたり、助詞や語尾が伸びてしまう作品や文末が下がっていない作品がまだある。文の意味・解釈を深めるために、注意深く読み込みを行うとともに、滑舌をはっきりとさせ、助詞や語尾の切り方にも注意して読み込んでほしい。そのために、大きな口を開けしっかりと滑舌や発声の練習をし、本番ではそのテンションを少し下げて、間の取り方や語尾の処理に気を遣うなどを今後の課題にしてほしい。ただ、気をつけてほしいのが、会話文の読みに力を入れ演劇調になってしまい他の部分の読みが疎かになり平板になってしまうことである。また、句読点だけではなく文節のつながりを考えて息を継ぎ、一気に読み上げるのか、切るのかをよく読み込みながら考える必要がある。

原稿作成について

今年度も誤字・脱字が見られた。文が抜けているものもあり、見直しが必要である。また、朗読の課題作品で短編集を選択した場合は、原稿への表記・作品名のアナウンスは図書名でなく「選択した短編集名」をいれることになっている。全国大会要項の確認をお願いしたい。

アナウンス部門について

今回は2作品の出品であったが、原さん・吉井さん（共に新島）は声が良く出ており、元気のあるアナウンスであった。原さんは歯切れ良くきはきとしたアナウンスで、吉井さんは素直な読みのアナウンスであった。アナウンスの差はほとんど無かったが、原稿作成においての伝えようとする情報の量や質において、原さんの方が十分なものがあつた。アナウンス部門で大切なことは、自分の身の回りの話題を伝えると視点で原稿を作成しなければならない。そのために必要な情報量や情報の内容が大切になってくる。原稿作成についても検討を重ねてほしい。

朗読部門について

最優秀賞の山口くん（伊勢崎二）は、昨年に続いて2年連続の受賞となった。昨年より成長した朗読ができていた。きちっと読み込みができており、勢いがある声もよく出ている。地の文の読みと会話文の工夫、感情を読み取って表現できている朗読であった。優秀賞・栗原さん（同）は、大人っぽい魅力的な声で単語一つ一つを丁寧に読んでいた。優秀賞・嶋田さん（矢中）は大人っぽい落ち着いた声で、感情があつてよい朗読であった。優秀賞・濱本さん（春日）は、明るい声で元気のある朗読であった。会話文の読みが良かった。優秀賞・高橋さん（渋川）はしっかりと読み込んだのであろう、落ち着いたある丁寧な朗読であった。優秀賞・若松さん（新島）はドラマがあるところをスムーズによく読めていた。優良賞・藤本さん（同）は、明るい声で会話の読みに工夫が見られた。優良賞・矢下さん（伊勢崎二）は明るい声質で聞きやすい朗読であった。優良賞・大島さん（同）は、一生懸命に表現しようとしている朗読であった。2年生であるので、練習や読み込みを重ねてほしい。来年に期待したい。優良賞・小坂橋さん（新島）は、会話部の酒飲みの声、途中でスピードを変化させる朗読など、工夫が見られた。奨励賞・滝沢くん（吉岡）と野村さん（群馬中央）は、ともに1年生ながら良い朗読ができていた、来年を期待したい。

ほとんどの作品の録音状態は良好であったが、もう少し工夫をしてほしい作品も見られた。学校の機材には、どうしても限界があるので、総合教育センターや生涯学習センター等の視聴覚関係の設備がある施設の活用も、1つの方法だと思われる

また、朗読に関する総合的な講評としては、本の中味をよく読んで腑に落としてから、わいてくる情感とその感情を伝えたい、そしてその感情をどう伝えるかというという気持ちを持って、朗読をしてほしい。そもそも朗読とは、読んで自分が気持ちよくなるものではなく聞いてもらうためのもの、作者の考えを自分なりに解釈し、それを聞いてわかるようにその情景や感情などの内容をしっかりと伝えられるかが大切となる。

まだまだ、文章を短く区切って読む傾向が見られたのは、残念であった。朗読の場合、文字を追って読んでしまっただけでは朗読によるよさは伝わらない。いかに繰り返し読み込み、作者の考えや意図を自分なりに理解し、どのように伝えるかということを一層つかんでほしい点である。NHKラジオには朗読番組【「ラジオ文芸館」ラジオ第一 土曜日 22:15 ~ 22:55】があるので参考に聞いてほしい。また、もっと声を出すために、体を使った発声の練習をしてほしい。